

令和7年度 保護者による学校評価

質問内容	よく当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
2-01 本校の教育活動は、保護者や地域・市民に信頼されている。	36.1%	61.5%	2.4%	0.0%
2-02 お子様は、各種検定に積極的に取り組み、資格取得に対する意識が高い。	42.2%	43.2%	14.1%	0.5%
2-03 自宅で取り組める課題が適切な量で出され、しっかりと集められている。	23.4%	59.5%	16.1%	1.0%
2-04 お子様の学力が向上していると実感できる。	23.8%	49.5%	23.8%	2.9%
2-05 本校は、生活の規律（服装・挨拶など）に関して力を入れている。	41.0%	52.2%	6.3%	0.5%
2-06 本校生は、校則や決まりを守っている。	24.8%	60.7%	14.6%	0.0%
2-07 本校は、進路に関する情報の提供に努めている。	42.2%	52.0%	5.4%	0.5%
2-08 本校は、生徒の進路目標実現のために努力している。	44.4%	50.7%	4.4%	0.5%
2-09 本校の健康に関する教育は行き届いている。	25.0%	67.6%	7.4%	0.0%
2-10 本校の交通安全に関する教育は行き届いている。	35.4%	51.5%	11.7%	1.5%
2-11 本校は、施設・設備・環境がよく整備されている。	13.6%	47.6%	34.0%	4.9%
2-12 本校の学校行事（体育祭・文化祭・デパートなど）は充実している。	63.4%	36.1%	0.0%	0.5%
2-13 本校の職員の対応は親切で熱意がある。	38.8%	54.4%	6.8%	0.0%
2-14 本校の先生は、生徒の悩みや相談に親身になって応じてくれる。	29.8%	60.0%	9.8%	0.5%
2-15 授業が分かりやすいと子どもから聞いている。	8.8%	61.8%	27.5%	2.0%
2-16 学校からの連絡や案内文書が確実に届いている。	35.0%	44.7%	15.5%	4.9%
2-17 本校の部活動は活発である。	46.6%	47.6%	4.9%	1.0%
2-18 保護者は、PTA活動に協力的である。	16.0%	53.4%	28.6%	1.9%
2-19 自分の子どもを本校に入学させて良かったと思う。	64.1%	33.0%	2.9%	0.0%
3-01 家庭では、宿題を含め積極的に自宅学習に取り組ませている。	16.0%	44.7%	34.0%	5.3%
3-02 家庭では、進路や将来のことをよく話し合っている。	30.1%	51.0%	17.5%	1.5%
3-03 家庭では、家事の手伝い等がしっかりできている。	19.4%	43.2%	23.8%	13.6%
3-04 家庭では、家族全員で食事をしている。	47.6%	37.4%	13.6%	1.5%
3-05 家庭では、生活習慣がしっかりでき、家庭内のルールを守らせている。	18.0%	55.3%	24.8%	1.9%

(1) 全体概況

今回のアンケート結果を総括すると、**学校の教育方針や生徒への指導体制に対し、保護者から極めて高い信頼と評価を得ていることが示されました。**

特に「学校への信頼（2-01）」や「職員の対応（2-13）」において肯定的な回答が95%を超えており、学校と家庭の連携が良好に保たれていることが分かります。

(2) 本校の強み（高く評価された項目）

集計データに基づき、以下の3点が本校の教育活動の柱として高く評価されています。

① 信頼感と教職員の熱意:

教職員の親切で熱心な対応（2-13）や、生徒の悩みへの親身な相談（2-14）に多くの肯定が集まりました。

② 進路指導の充実:

進路情報の提供（2-07）および目標実現への努力（2-08）に対し、保護者の期待に応える指導ができていることが確認されました。

③ 学校行事と活力:

文化祭・体育祭・デパート等の行事（2-12）や部活動（2-17）の満足度が非常に高く、生徒が活気ある学校生活を送っていると評価されています。

(3) 今後の検討課題

高い満足度の一方で、以下の項目については今後の改善や家庭との情報共有を強化する必要があります。

2-04学力の向上

肯定的評価はあるものの、「あまり当てはまらない」との回答が他の設問に比べ多く（約24%）、学力の伸びを実感できる仕掛けが必要です。

2-03家庭学習

課題の量や提出状況について一定の否定的な意見があり、個々の生徒に応じた適切な負荷の見直しが求められます。

2-11施設・設備

環境整備への要望が一部に見られ、計画的な修繕や清掃・維持管理の徹底が期待されています。

令和7年度 生徒による学校評価

質問内容	よく当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
2-01 出水商業の教育活動は、保護者や地域・市民に信頼されている。	39.4%	54.5%	5.2%	0.9%
2-02 自分は、各種検定に積極的に取り組み、資格取得に対し精一杯取り組んでいる。	50.6%	41.9%	6.3%	1.2%
2-03 自宅で取り組める課題が適切な量で出され、しっかりと集められている。	35.2%	45.2%	15.7%	3.9%
2-04 自分は、学力が向上していると実感できる。	29.4%	51.8%	17.0%	1.8%
2-05 出水商業は、生活の規律（服装・挨拶など）に関して力を入れている。	53.3%	40.9%	4.5%	1.2%
2-06 自分は、校則や決まりを守っている。	60.2%	37.7%	1.8%	0.3%
2-07 出水商業は、進路に関する情報の提供に努めている。	57.2%	38.9%	3.0%	0.9%
2-08 出水商業は、生徒の進路目標実現のために努力している。	58.0%	39.0%	2.7%	0.3%
2-09 出水商業の健康に関する教育は行き届いている。	41.3%	50.9%	6.6%	1.2%
2-10 出水商業の交通安全に関する教育は行き届いている。	34.0%	50.6%	14.2%	1.2%
2-11 出水商業は、施設・設備・環境がよく整備されている。	11.7%	34.9%	35.5%	17.8%
2-12 出水商業の学校行事(体育祭・文化祭・デパートなど)は充実している。	69.3%	27.1%	2.4%	1.2%
2-13 出水商業の先生の対応は親切で熱意がある。	38.7%	51.7%	7.6%	2.1%
2-14 出水商業の先生は、生徒の悩みや相談に親身になって応じてくれる。	40.1%	47.0%	10.5%	2.4%
2-15 授業が分かりやすいと実感できている。	27.4%	58.4%	11.7%	2.4%
2-16 学校からの連絡や案内文書は確実に親に届けている。	44.9%	40.1%	13.0%	2.1%
2-17 出水商業の部活動は活発である。	56.9%	37.0%	5.1%	0.9%
2-18 出水商業に入学して良かったと思う。	48.5%	45.2%	4.8%	1.5%
3-01 家庭では、宿題を含め積極的に自宅学習をおこなっている。	21.4%	42.2%	30.4%	6.0%
3-02 家庭では、進路や将来のことをよく話し合っている。	28.7%	42.3%	24.8%	4.2%
3-03 家庭では、家事の手伝い等がしっかりできている。	39.2%	44.6%	14.2%	2.1%
3-04 家庭では、家族全員で食事をしている。	53.9%	32.5%	8.7%	4.8%
3-05 家庭では、生活習慣がしっかりでき、家庭内のルールを守っている。	46.2%	41.4%	10.6%	1.8%

(1) 全体概況

今回のアンケート結果を総括すると、学校の教育方針や生徒への指導体制に対し、**生徒自身から極めて高い信頼と評価を得ている**ことが示されました。特に「進路支援（2-08）」や「規律遵守（2-06）」において肯定的な回答が95%を超えており、学校の指導が、生徒の意識や日々の行動にしっかりと根付いていることが分かります。

(2) 本校の強み（高く評価された項目）

集計データに基づき、以下の3点が本校の教育活動の柱として高く評価されています。

① 進路指導への強い信頼

「進路目標実現への努力（2-08）」や「情報の提供（2-07）」に対する満足度が非常に高く、将来に対する学校のサポート体制が生徒に高く評価されています。

② 高い規範意識と規律ある校風

「校則の遵守（2-06）」や「生活指導（2-05）」において、生徒自身が規律を重んじている姿勢が顕著であり、良好な校風が維持されています。

③ 地域からの信頼の実感

「地域・市民からの信頼（2-01）」を生徒自身も強く実感しており、本校生徒としての誇りを持って学校生活を送っている様子が伺えます。

(3) 今後の検討課題

高い満足度の一方で、以下の項目については今後の改善や家庭との情報共有を強化する必要があります。

2-03 家庭学習

否定的な回答が全項目で最多（19.6%）です。課題の「量」の適切さや、提出することが目的化していないかなど、家庭学習の質的な改善が求められます。

2-10 交通安全教育

「あまり当てはまらない」の回答数が全項目で2番目に多く（47名）、教育内容が形骸化していないか、生徒の登下校実態に即しているか再点検の余地があります。

2-02 資格取得

積極的な姿勢は見られますが、上位の検定への挑戦や、不合格だった生徒への再チャレンジに向けた意欲喚起など、さらなる動機付けの強化が期待されます。

令和7年度 職員による学校評価

質問内容	十分達成	おおむね達成	やや不十分	不十分
1-1 教育目標（知・徳・体の調和のとれた人格形成、主体的に考え行動する力の向上、未来の社会の創り手となる人材の育成）に沿った教育活動の推進がなされているか。	16.1%	58.1%	22.6%	3.2%
1-2 本校の教育活動は、保護者や地域・市民の期待に応える内容であるか。	16.7%	70.0%	13.3%	0.0%
1-3 全体的に校務分掌は機能的であったか。	12.9%	71.0%	16.1%	0.0%
1-4 全体的に生徒指導態勢が十分機能していたか。	19.4%	61.3%	19.4%	0.0%
1-5 全体的に進路指導態勢が十分機能していたか。	25.8%	67.7%	6.5%	0.0%
1-6 全体的に保健・安全指導が十分機能していたか。	25.8%	61.3%	12.9%	0.0%
2-1-1 自ら授業時数の確保、教材の精選、授業（指導）の工夫・改善に努めているか。	16.7%	76.7%	6.7%	0.0%
2-1-2 宿題や課題の量は適切であるか。	13.3%	70.0%	13.3%	3.3%
2-1-3 宿題や課題の点検・評価に努めたか。	30.0%	70.0%	0.0%	0.0%
2-1-4 評価後の改善指導及び成績不振者に対する指導が徹底できたか。	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%
2-1-5 基礎学力定着のため、自宅学習を含めた学習習慣の確立に努めたか。	3.3%	53.3%	43.3%	0.0%
2-2-1 教室内外の整理整頓や点検・指導に努めたか。	30.0%	66.7%	3.3%	0.0%
2-2-2 服装容儀等の指導に努めたか。	29.0%	58.1%	12.9%	0.0%
2-2-3 問題行動の未然防止と発生後の指導が徹底できたか。	22.6%	71.0%	6.5%	0.0%
2-3-1 各学年の進路目標に即した指導ができたか。	23.3%	70.0%	6.7%	0.0%
2-3-2 「進路だより」等の活用及び進路に関する情報の収集に努めたか。	20.0%	70.0%	10.0%	0.0%
2-3-3 進路関係調査等の活用を努めたか。	20.0%	63.3%	16.7%	0.0%
2-4-1 教育活動全般における安全指導に努めたか。	29.0%	61.3%	9.7%	0.0%
2-4-2 清掃時間の指導は十分であったか。	25.8%	61.3%	12.9%	0.0%
2-4-3 登下校の安全・健康管理の指導に努めたか。	19.4%	77.4%	3.2%	0.0%
2-5-1 地域や保護者との連携に努めたか。	19.4%	77.4%	0.0%	3.2%
2-5-2 自身も含めボランティア活動の推進に努めたか。	25.8%	51.6%	16.1%	6.5%
2-5-3 部活動の活性化を図り指導の徹底ができたか。	20.0%	66.7%	13.3%	0.0%
2-5-4 職員会議（学年会）で共通理解したことの実践に努めたか。	19.4%	74.2%	3.2%	3.2%
2-5-5 生徒指導提要に基づく指導・心の教育・人権同和教育に努めたか。	16.1%	83.9%	0.0%	0.0%
2-5-6 出席簿、学級週番日誌の点検・講評の記入に努めたか。	36.7%	60.0%	3.3%	0.0%
2-5-7 服務規律の遵守に努めたか。	53.3%	46.7%	0.0%	0.0%
2-5-8 組織の中で積極的に校務を遂行できたか	32.3%	67.7%	0.0%	0.0%
2-5-9 健全な会計処理に取り組んでいるか。	70.0%	30.0%	0.0%	0.0%
2-5-10 自己申告書に基づいた目標の達成に努めているか。	32.3%	64.5%	3.2%	0.0%

(1) 現場の「職人氣質」と「徹底力」

この学校の最大の強みは、**「決めたことをやり抜く実直さ」**です。

2-1-3 課題点検・評価（肯定率100%）

分析: 全項目の中で唯一、否定的な意見がゼロでした。これは、教職員の皆さんが多忙な中でも「生徒の努力を拾い上げる」という基礎的な教育活動を極めて誠実にやっている証拠です。

(2) 「実利」への自信と「理念」への迷い

組織としてのバランスに、非常に興味深いデータが出ています。

「進路指導（1-5）」への強い自信: 肯定率93.5%

「教育目標（1-1）」への戸惑い: 肯定率74.2%（最低値）

分析: 進路実績や日々の指導といった「目に見える成果」には手応えを感じている一方で、学校が掲げる「人格形成」や「未来の創り手」といった大きな目標に対しては、「今のやり方で本当にいいのか？」という真面目ゆえの葛藤が見て取れます。

(3) 「フォローアップ」の限界点

「点検」は完璧ですが、その後の「改善」に課題があります。

2-1-3（点検・評価）はスコア3.30と高い。

2-1-4（評価後の改善指導・不振者対応）はスコア3.00に低下。

分析: 課題を出させ、確認し、成績をつける。ここまでは組織の仕組みとして回っていますが、そこから漏れた生徒一人ひとりへの手厚いフォローについては、**「時間的・精神的なリソースが限界に近い」**という現場のサインかもしれません。

【総評：誠実な教育活動の土台と、次なる飛躍への課題】

本年度のアンケート結果から浮かび上がったのは、**「やるべきことを着実に遂行する、規律正しく誠実な組織像」**です。多くの項目で85%を超える高い肯定率を維持しており、本校の教育活動は極めて安定した状態にあると言えます。

今後は、確立された「点検のルーチン」を土台にしつつ、浮いたリソースを「成績不振者への個別フォロー（2-1-4）」などの、より一人ひとりに寄り添った指導へとシフトさせていくことが期待されます。組織としての機能（分掌・指導態勢）は成熟しているため、次はそれらをどう掛け合わせ、職員の負担を減らしつつ教育効果を最大化するかが鍵となります。